

せいぶつたようせい
「生物多様性さっぽろビジョン(案)」
い けん ぼ しゅう
ご意見募集

さっぽろし せいぶつたようせい まも かんが かた とりくみ
札幌市では、生物多様性を守るための考え方や取組などをまとめた、
せいぶつたようせい あん つく
「生物多様性さっぽろビジョン(案)」を作りました。
さっぽろ みらい にな いけん さんこう よ けいかく
札幌の未来を担うみなさんのご意見を参考にして、より良い計画にした
かんが
いと考えていますので、このパンフレットを読んで、気づいたことや考
おも おし
えたこと、やってみようと思ったことを教えてください。



ぼ しゅう き かん
募集期間

れいわ ねん がつ にち か れいわ ねん がつ にち すい
令和5年12月26日(火) ~ 令和6年1月31日(水)まで

保護者の皆さまへ

このパンフレットは「生物多様性さっぽろビジョン」の改定にあたって、子どもたちの意見を聞くために作成したものです。ぜひ、ご自宅等でお子様と一緒に読みいただき、ご意見をお寄せください。

札幌市環境局環境都市推進部
環境共生担当課

市政等資料番号
01-J02-23-2358

せいぶつたようせい 「生物多様性さっぽろビジョン」って？

わたしたちが暮らす地球上にはたくさんの種類の生き物がいます。そのたくさんの生き物が、お互いにつながり合って暮らしていることを「生物多様性」といいます。

わたしたち人間は、きれいな水や空気、食べ物など、生物多様性からたくさんのめぐみをうけて生きていますが、開発や気候変動など、人間の影響により、世界中で生物多様性が失われています。

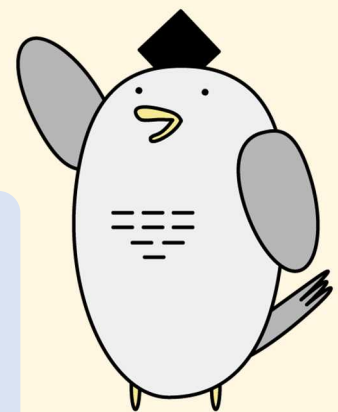
そこで札幌市では、平成25年3月に「生物多様性さっぽろビジョン」という計画を作り、生物多様性を守るためにいろいろな取組を進めてきました。

はじめに作った平成25年から10年がたち、生物多様性を守るための世界の目標や日本の取組などが変わったことから、この「生物多様性さっぽろビジョン」を見直すことになりました。



せいぶつたようせい
生物多様性さっぽろ
ビジョン

わたしは、札幌市の生物多様性PRキャラクターのカッコー先生なんだッコー。生物多様性や札幌市の取組などについて説明するのです。



せいぶつたようせい なに 生物多様性って何？

い もの
生き物どうしのつながりを表す言葉です。

◎ せいぶつ？たようせい？

ちきゅうじょう い もの なが じかん かんきょう い
地球上の生き物は、長い時間をかけて、いろいろな環境で生きられるように
しんか ちきゅうじょう
進化してきました。地球上には、わかっているだけでおおよそ 175万種、ま
だ知られていないものも合わせると 3,000万種もの生き物がいると言われ
ています。わたしたち人間もその中の1種です。

そして、その生き物ひとつひとつが、他の生き物と複雑につながり合っている
ことで、ゆた もり かわ うみ しぜん かんきょう たも
豊かな森や川、海などの自然の環境が保たれています。

◎ どうして大事なの？

みつばちやマルハナバチは、はな みつ かふん か しょくぶつ み たね
ミツバチやマルハナバチは、花の蜜や花粉をもらう代わりに、植物が実や種
をつくのを助けます。そうやってできた野菜や果物を、わたしたち人間は食
べ物として利用しています。食べ物だけではなく、みず くうき くすり いえ た
木材など、たくさんの自然のめぐみによってわたしたちの暮らしは成り立っ
ています。

◎ せいぶつたようせい うしな 生物多様性が失われるとどうなるの？

ちきゅうじょう もり き ことり こんちゅう じんげん
地球上から、森や木がなくなり、小鳥や昆虫もいなくなってしまう、人間だ
けが残されたらどうでしょう？立派な家やビル、車があっても人間だけでは
のこ りっぱ いえ くるま じんげん
生きてはいけません。食べ物はずべて生き物です。生きるために必要な空気
い ひつよう くうき
(酸素)は、さんそ もり うみ う
森や海から生まれます。

わたしたちの生活に欠かせない食べ物やエネルギー、べんきょう ひつよう えんぴつ
勉強に必要な鉛筆やノ
げんりょう せいぶつたようせい しぜん
ートの原料などは、生物多様性による自然のめぐみです。

さっぽろ とくちょう せいいたいけい 札幌の特徴①(生態系)

札幌市内には、円山原始林や藻岩山原始林、南区の山など、昔からの自然の森や、人がつくった公園や農地など、いろいろな環境(生態系)があります。

札幌市の面積の半分以上(おおよそ 6割)は森林で、法律で守られている面積が多いのも特徴です。

◎ 自然林、自然草原、高地の湿地

南区や西区の山では今でも自然の林や草原が残されています。そこには、森にすむ大きな鳥のクマタカやクマガラなど、数が少なく珍しい生き物がいます。



◎ 公園、植物園など

札幌市内には、古くからある中島公園や北海道大学植物園、新しくつくられた公園、家の庭など、草木に囲まれた場所がたくさんあり、チョウやバツなど身近な生き物がいます。



◎ 畑地、草地

北区や東区を中心に、畑地や牧草地、草地が見られます。昔と比べると草地は減ってきていますが、ノビタキやエゾヤチネズミなどの生き物にとっては、重要な環境です。



◎ 河川、河畔林

河川は上流から下流までいろいろな生態系とかがわり合いながら、多くの生き物を育み、陸と海をつなぐ重要な役割を持っています。札幌市内にはおおよそ 590本の河川があります。



さっぽろ とくちょう い もの しゅるい 札幌の特徴②(生き物の種類)

さっぽろしな い しゅ い もの
札幌市内には、およそ 8,000種の生き物があります。

「札幌の特徴①」で説明したように、札幌市内にはいろいろな環境(生態系)があります。また、はっきりとした季節の移り変わりがあり、暖かいところと寒いところの間にあるので、北の生き物と南の生き物が接する地域にもなります。

そのため、およそ 8,000種と、いろいろな生き物があります。

その中には、昆虫ではサッポロフキバツタ、ジョウザンシジミ、モイワサナエ、カタツムリの仲間ではサッポロマイマイ、植物ではモイワランなど、札幌の地名がついた生き物もいます。

さっぽろ かくにん い もの しゅるいすう 札幌で確認された生き物の種類数

ぶんるいぐん 分類群	かくにんしゅすう 確認種数	きしょう しゅ しゅすう 希少な種の種数 さっぽろしばん (札幌市版レッドリスト)	がいらいしゅすう 外来種数 ほっかいどう (北海道ブルーリスト)
ほにゅうい 哺乳類	47	14	10
ちようい 鳥類	271	33	5
りようせい 両生類	6	1	3
はちゅうい 爬虫類	9	1	2
たんすいぎよるい 淡水魚類 すいせいどうぶつ 水生動物	92	12	25
こんちゅうい 昆虫類	5,878	113	24
しよくぶつ 植物	2,085	123	388
ごうけい 合計	8,388	297	457

「札幌市版レッドリスト」と「北海道ブルーリスト」の説明は、次のページをご覧ください。



サッポロフキバツタ



モイワサナエ

レッドリストとブルーリスト

札幌市版レッドリスト

札幌市内にいる絶滅のおそれのある生き物のリストです。

- ある生き物が地球上から消えてしまうことを「絶滅」といいます。長い歴史の中で恐竜が絶滅したように、生き物の絶滅はこれまでも自然に起きてきました。
- 今、地球上では、自然の速さの1,000倍のスピードで生き物の絶滅が進んでいると言われています。
- そこで札幌市では、かけがえのない生き物を守るため、絶滅しそうな生き物のリストとして、「札幌市版レッドリスト」を作りました。



子ども向け札幌市版レッドリスト「まもろう札幌の仲間たち。」

北海道ブルーリスト

北海道内にいる外来種のリストです。

- もともとその地域にはいなかったのに、人の手によって他の地域から持ってこられた生き物を「外来種」といいます。
- 外国から持ってこられた生き物だけではなく、日本国内の他の地域から持ってこられた生き物もそこでは外来種になります。
- 外来種は、もともとその地域にいた生き物である「在来種」を食べたり、住む場所やえさをうばったりすることで、その地域の生態系に影響を与えることがあります。

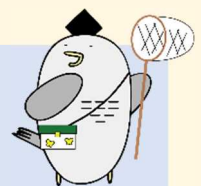


ウチダザリガニ
(国外外来種)

外来種被害予防三原則

外来種は、「①入れない、②捨てない、③拡げない」ことが大切なのです。

自分で捕まえた生き物もお店で買った生き物も、最後まで大切に育てるんだッコー!



せかい にほん とりくみ 世界と日本の取組

せいぶつたようせい まも しょうらい のこ せかい にほん とりくみ
生物多様性を守り、将来に残していくため、世界や日本ではいろいろな取組をして
います。

せかい とりくみ 世界の取組

こんめい せいぶつたようせい わくぐみ 昆明・モンリオール生物多様性枠組

- れいわ ねん がつ ひら かいぎ あたら せかい
令和4年12月、カナダのモンリオールで開かれた会議では、新しい世界
的な目標として「昆明・モンリオール生物多様性枠組」が作られました。
- そこでは、2050年 のビジョン(目標)として「自然と共生する世界」、
2030年 ミッション(やること)として、「生物多様性を回復させるために、今
すぐ行動をとること」が決められました。

にほん とりくみ 日本の取組

せいぶつたようせい こっか せんりやく 生物多様性国家戦略2023-2030

- にほん せいぶつたようせい まも しょうらい い けいかく
日本では、生物多様性を守り、将来にわたって活かすための計画として、
れいわ ねん がつ せいぶつたようせい こっか せんりやく つく
令和5年3月に、「生物多様性国家戦略2023-2030」が作られました。
- 2050年 ビジョン(目標)を「自然と共生する社会」として、たくさんの
目標や取組が決められました。

せいぶつたようせい うしな げんいん 生物多様性が失われている原因は…

せいぶつたようせい うしな げんいん しんりん ばっさい がいらいしゅ がくぶつ せいぶつたようせい ちきゅう
生物多様性が失われている原因として、森林の伐採、外来種や化学物質の影響、地球
あんだんか きこう へんどう えいさう
温暖化など気候変動による影響などがあります。

さっぽろしな い ねんかん 500~1,000 けん ごみ ふほうとうさき ぼっけん
札幌市内では、1年間に500~1,000件くらいのごみの不法投棄が発見
されています。道路脇に捨てられたお菓子の袋やビニル袋、プラス
チック容器などは、風飛ばされたり川を流れたりして海にたどり着き、
うみ い もの きず
海の生き物を傷つけてしまうことがあるのです。



さっぽろし とりくみ 札幌市の取組

いま おこな さっぽろし おも とりくみ しょうかい
今までに行ってきた札幌市の主な取組を紹介します。

さっぽろ生き物さがし

- 札幌市内の生き物の情報を集めるとともに、生物多様性への興味と理解を深めることを目的に、市民参加型の生き物調査「さっぽろ生き物さがし」をしています。
- 調査期間中に見つけたトンボやチョウ、カエル、春に咲く花などの情報を報告してもらうもので、令和4年度の調査には、1,100を超えるチームから参加の申込があり、12,000件を超える調査結果が報告されました。
- 皆さんから寄せられた結果は、自然環境の変化や、外来種の増減を知るためなどに活かされています。



さんかしゃ よ しゃしん
参加者から寄せられた写真

せいぶつたようせい かつどうきよてん 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク

- 札幌市内には、円山動物園、新さっぽろサンピアザ水族館、豊平川さけ科学館など生き物が観察できる施設や、水道記念館、北海道博物館、北方自然教育園など生物多様性を学ぶことができる施設がたくさんあります。
- そのような施設と一緒に、「いきものつながりクイズラリー」を行いました。



かだい こんご とりくみ 課題と今後の取組

平成25年に「生物多様性さっぽろビジョン」を作ってから、さまざまな取組を行ってきましたが、生物多様性の保全にはまだ課題があります。このため、課題を解決し、将来にわたって生物多様性を守り続けるため、取組を進めます。

かだい 課題

◆ 生物多様性についての理解が進んでいない

生物多様性についてのアンケートの結果では、生物多様性の言葉の意味を知っている人の割合は、おおよそ30%であり、生物多様性の大切さについての知識の不足や無関心が課題となっています。

◆ 生物多様性について広く知ってもらうための取組を行います。例えば、

- 札幌市内で開かれるいろいろなイベントへの出展
- 動物園、水族館、博物館などでの展示
- 学校とも連携した生き物観察会や出前講座を行う



こんご とりくみ 今後の取組

◆ 生物多様性の理解度 80%以上を目指します。

(言葉の意味を知っている人、言葉を知っている人の割合)

もくひょう 目標

かだい こんご とりくみ 課題と今後の取組

かだい 課題

◆ 外来種の種類や、いる場所が増えている

札幌市内には3種類のザリガニがいます。もともと札幌にいた「在来種」のザリガニはニホンザリガニだけで、それ以外のウチダザリガニ、アメリカザリガニは持ち込まれた「外来種」です。ウチダザリガニは、サケの卵やニホンザリガニを食べてしまう心配があります。

こんご とりくみ 今後の取組

◆ 外来種の対策は、札幌市だけでは十分な取組はできません。そのため、市民ボランティアなど、市民、団体、企業、大学などと協力します。

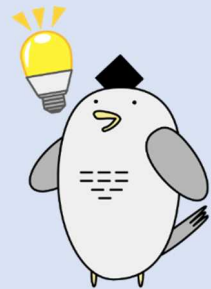
◆ 外来種の数や被害を減らすため、外来種がいる場所などを調べ、捕まえるなどの取組を行います。

もくひょう 目標

◆ 優先的に減らしていく外来種のリストと、その種を減らすための計画を作り、種ごとに対策をします。

ほか とりくみ その他の取組

- ◆ 札幌市版レッドリストを見直し、生き物を守るための方法を考えるのです。
- ◆ さっぽろ生き物さがしや専門家による自然環境の調査を行い、札幌市内の生き物の情報を収集し、活用するッコー。



わたし

私たちにできること

2030年^{ねん}ミッションである「^{せいぶつたようせい}生物多様性を^{かいふく}回復させるために、^{いま}今すぐ^{こうどう}行動をとること」を^{たっせい}達成するため、^{わたし}私たちに^{はじ}できることから始めてみよう！

◎ 知る^しこと

- ^{きんじよ}近所の^{こうえん}公園や^{ゆうほどう}遊歩道を^{ある}歩いてみよう。
- ^{みぢか}身近な^い生き物^{もの}を探^{さが}してみよう。
- ^{どうぶつえん}動物園や^{しょくぶつえん}植物園、^{はくぶつかん}博物館^いに行^いってみよう。

◎ できる^{はじ}ことから始めてみよう

- ^{やがい}野外で^だ出した^{かなら}ごみは^も必^{かえ}ず持ち帰ろう。
- ^{やせい}野生の^{どうぶつ}動物や^{しょくぶつ}植物は、^{むやみ}むやみに^{とら}ないようにしよう。
- ^{やせい}野生の^{どうぶつ}動物に^{ちか}近づいたり、^{えさ}えさを^{あげ}あげたり^{しな}ないようにしよう。
- ^{さいご}ペットは^{せきにん}最後まで^も責任^かを持って^{ぜったい}飼^{やがい}い、^{はな}絶対に^{はな}野外に^{はな}放^{はな}さないようにしよう。
- ^{かんきょう}環境への^{えいきょう}影響^{すく}が^{しょうひん}少ない^{えら}商品^{えら}を選^{えら}んでみよう。
- ^{みず}水を^{たいせつ}大切にしよう。
- ^{かぞく}どんな^{とも}ことができるか、^{はな}家族^あや^あ友^あだちと^あ話^あし合^あってみよう。



